

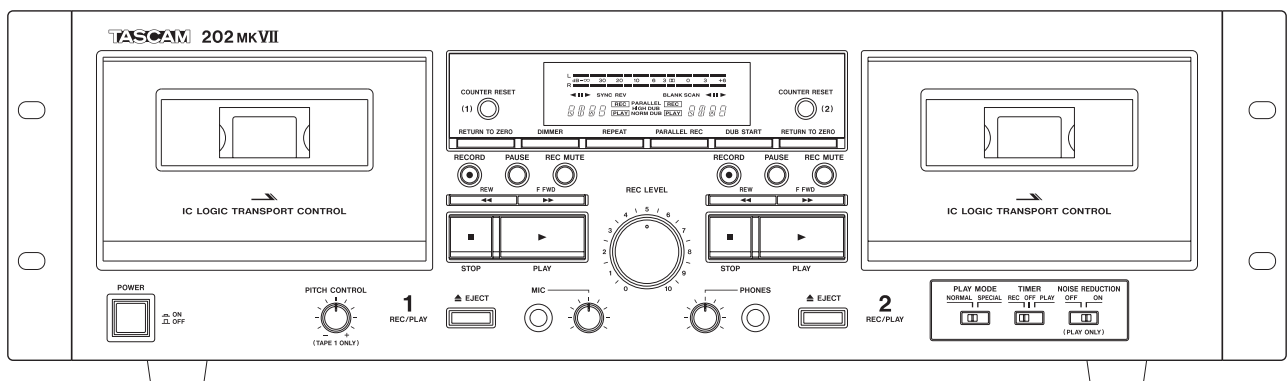
TASCAM

D01332601C

202MKVII








DOUBLE CASSETTE DECK

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20 cm 以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5 cm 以上、背面から 10 cm 以上のすきまをあけるすきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音量で聴かないで下さい。</p>



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源プラグ
をコンセント
から抜く

移動する場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す

コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する

また、接続は指定のケーブルを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となる場合があります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする

異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない

火災・感電やけがの原因となる場合があります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となる場合があります。



注意



5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。




内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。




安全にお使いいただくために（続き）

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 警告 乾電池に関する警告	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

 警告 電池に関する警告	
 強制	電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる場所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

 注意 電池に関する注意	
 禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

目次

本機でできること	6
お使いになる前に	7
お使いになる前に(続き)	8
カセットテープについて	9
リモコンの使い方	10
各部の名前とはたらき(本体)	11
各部の名前とはたらき(リモコン)	13
各部の名前とはたらき(ディスプレイ)	14
接 続	15
カセットテープを聴く	16
0000 に移動	18
再生モードについて	19
リピート再生	19
カセットテープに録音する	20
パソコンで録音するには	23
マイクミキシング録音	25
パラレル(同時)録音	28
ダビング	29
タイマー再生/録音	30
困ったときは	33
仕様	34

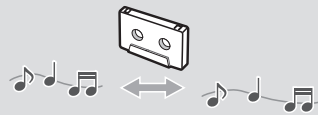
本機でできること

カセットテープの再生

カセットテープを聴く
→ 16ページ



ピッチ（音程）を変えて聴く
→ 18ページ



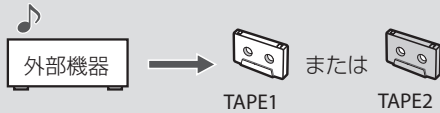
カウンター
「0000」の位置
に移動して聴く
→ 18ページ

指定した部分を繰り返し聴く
（リピート再生）
→ 19ページ



カセットテープへの録音

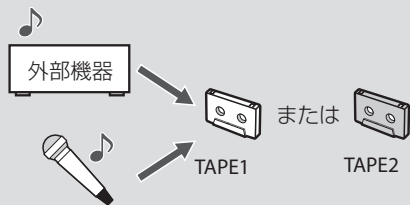
ライン入力からカセットテープ
（TAPE1 または TAPE2）に録音
→ 20 ページ



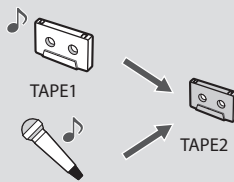
カセットテープからパソコンに録音
→ 23 ページ



ライン入力の音とミキシング録音
→ 25 ページ



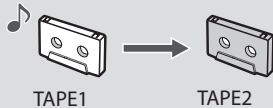
テープ再生の音とミキシング録音
→ 25 ページ



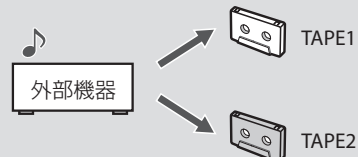
テープ再生の音でカラオケを楽しむ
→ 27 ページ



TAPE1 から TAPE2 にダビング
→ 29 ページ



ライン入力から2本のカセットテープに
同時に録音（パラレル録音） → 28 ページ



タイマー 市販のタイマーが必要です。

タイマーを使った再生
→ 30 ページ



タイマーを使った録音 → 30 ページ



お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはタスカム カスタマーサポート (巻末に記載) にご連絡ください。

リモコン (RC-1331) × 1



リモコン用乾電池 (単 3) × 2



ラックマウントビスキット × 1

取扱説明書 (本書、保証書付) × 1

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。

従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

⚠ 注意

再生や録音などの動作中には、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。テープ巻込みなどの原因となります。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏 5 度～ 35 度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

振動の多い場所

窓際などの直射日光が当たる場所

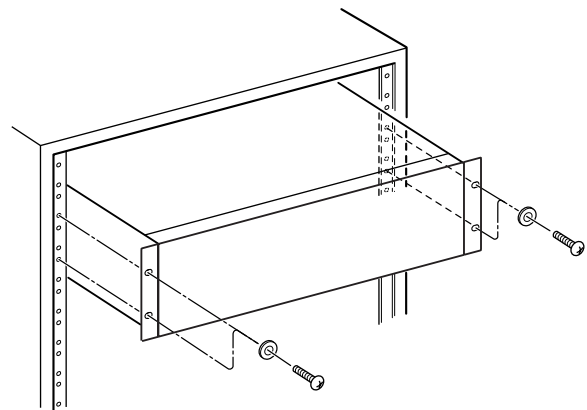
暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所

極端に温度が低い場所

湿気が多い場所や風通しが悪い場所

ほこりの多い場所

- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスキットを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本機の上に 1U 以上のスペースを空けてください。



お使いになる前に（続き）

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。

結露したときは、約 1～2 時間放置してから電源を入れてお使いください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

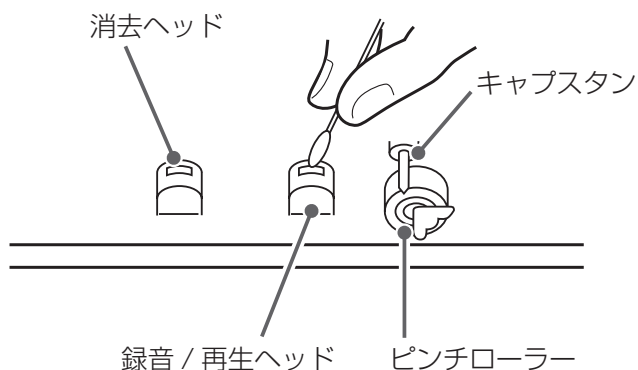
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

カセットデッキのクリーニング

ヘッド部が汚れると、録音・再生の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。

約 10 時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。



- ヘッドのクリーニング液が乾いてから、カセットテープをセットしてください。

ユーザー登録について

TASCAM のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

<https://tascam.jp/jp/login>

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が無償修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
本機を使ったカセットテープなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
 - 型名、型番（202MKVII）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

カセットテープについて

本機で使用できるカセットテープ

本機で再生できるカセットテープ

ノーマル(タイプ I) クローム(タイプ II)
メタル(タイプ IV)

本機で録音できるカセットテープ

ノーマル(タイプ I) クローム(タイプ II)

- 本機の TAPE1 と TAPE2 は、別々にテープの種類を検出しますので、種類の異なるカセットを同時に使用することができます。

使用上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープに直接手を触れないでください。

保管上の注意

- 磁石や磁気を帯びたものに近付けないでください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。
- ホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での保管は避けてください。

使用できないカセットテープ

次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作をしないことがあります。テープが巻き込まれるなど思わぬトラブルを起こすこともありますので、使わないでください。

変形したカセットテープなど

カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻戻し中に異音を生ずるもの。

長時間テープ

90分を超えるテープは大変薄くて伸びやすいため、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。本機ではご使用にならないでください。最悪の場合はカセットテープが取り出せなくなります。

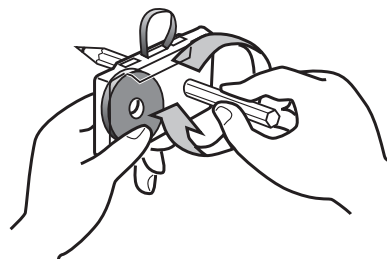
エンドレステープ

テープが巻き込まれる恐れがありますので、絶対に使わないでください。最悪の場合はカセットテープが取り出せなくなります。

テープの「たるみ」

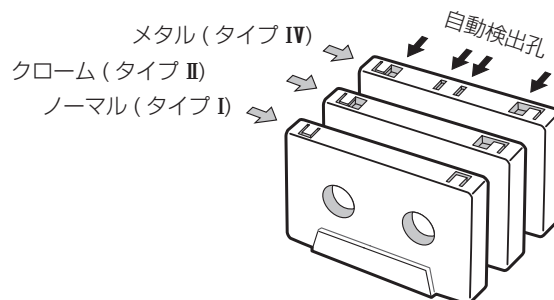
使用の前に、カセットのテープがたるんでいないか確かめてください。

テープがたるんでいると、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。



自動検出孔について

本機のカセットデッキはカセットテープの自動検出孔によってテープの種類を自動検出します。自動検出孔のあるカセットテープをお使いください。

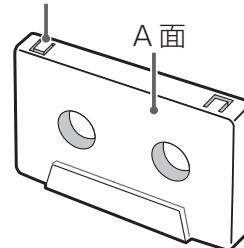


誤消去を防止するには

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止用のつめがついています。つめはカセットの両面用にそれぞれあります。

ドライバーの先などで折って取り除くと、誤消去防止装置が働いて録音ができなくなります。

A面のつめ



- 再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。その際にテープ自動検出孔はふさがないようにご注意ください。

リモコンの使い方

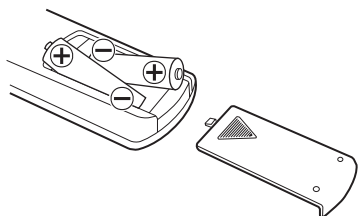
使用上の注意

! 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4 ページの注意をよく読んでお使いください。

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

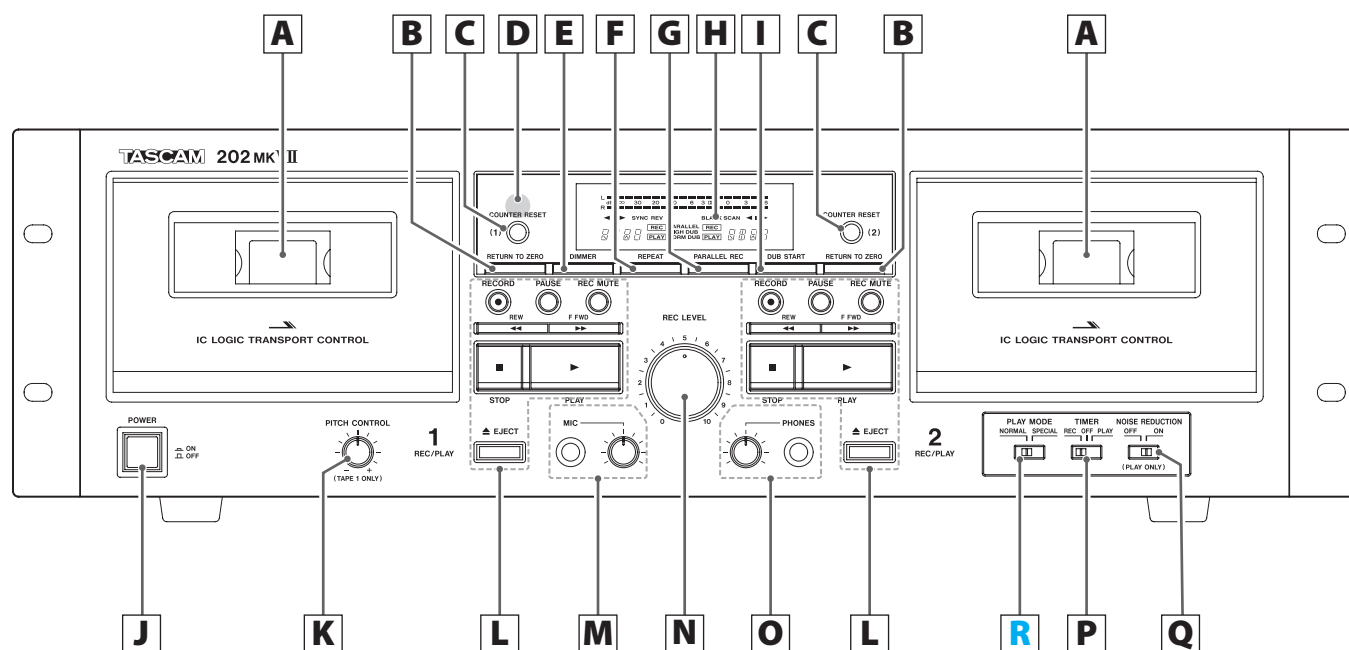
リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単 3 形) 2 本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

各部の名前とはたらき（本体）



A カセットホルダー

B RETURN TO ZERO ボタン

テープカウンターが「0000」の位置に移動して停止します。(18 ページ)

C カウンターリセットボタン (COUNTER RESET)

テープカウンターを「0000」にリセットします。

D リモコン受光部

リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

E ディマーボタン (DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。

F リピートボタン (REPEAT)

繰返して聴きたい部分を指定します。(19 ページ)

G パラレル録音ボタン (PARALLEL REC)

TAPE1 と TAPE2 への録音を同時に開始します。(28 ページ)

H ディスプレー

テープカウンターやレベルメーターなどが表示されます。(14 ページ)

I ダビングスタートボタン (DUB START)

TAPE1 から TAPE2 へ通常で速度でダビングを開始します。(29 ページ)

- TAPE2 から TAPE1 へのダビングはできません。
- 倍速でのダビングはできません。

J 電源ボタン (POWER)

電源のオン / オフを切り換えます。

K ピッチコントロールつまみ (PITCH CONTROL)

再生時のピッチ (音程) を調節します。録音時やダビング時には機能しません。(18 ページ)

L テープ操作ボタン

録音ボタン (RECORD ●)

録音をするときに使います。押すと録音待機状態になります。(20 ページ)

一時停止ボタン (PAUSE)

再生 / 録音を一時停止します。もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

録音ミュートボタン (REC MUTE)

録音中または録音待機中に、約 4 秒間の無録音部分を作るときに使用します。(22 ページ)

巻戻し / 早送りボタン (◀ / ▶)

巻戻し / 早送りに使います。

停止ボタン (■)

再生 / 録音 / 巻戻し / 早送りを停止します。

再生ボタン (▶)

各部の名前とはたらき (本体、続き)

カセットテープを再生します。

再生 / 録音の一時停止状態のときに押すと、再生 / 録音を再開します。

開ボタン (▲ EJECT)

カセットテープが停止しているときに、カセットホルダーを開きます。

M マイク端子 (MIC) / マイクレベルつまみ (LEVEL)

マイクを使用して録音する時は、この端子にマイクのプラグを差し込み、つまみを回して適切なレベルに調節してください。(25 ページ)

本機はステレオマイクには対応しておりません。

モノラルマイクをお使いください。

- マイクを接続するとテープの再生レベルが少し低めになります。マイクを取り外すと通常の再生レベルになります。

N 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL)

録音レベルを調節します。

O ヘッドホン端子 (PHONES) / ヘッドホン音量つまみ (LEVEL)

ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグをこの端子に差し込んでください。

ヘッドホンプラグを差し込んで、音声出力端子 (LINE OUT) からの音声は出力されます。

左側のヘッドホン音量つまみ (LEVEL) でヘッドホンの音量を調整します。

⚠ 注意

ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン / オフ、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

P タイマー設定スイッチ (TIMER)

このスイッチで、タイマーの設定 (タイマー再生、タイマー録音、またはタイマーオフ) を選びます。通常はオフにしておいてください。

タイマー再生 / 録音をするには、市販のタイマーを本機に接続してください。(30 ページ)

Q ノイズリダクションスイッチ (NOISE REDUCTION)

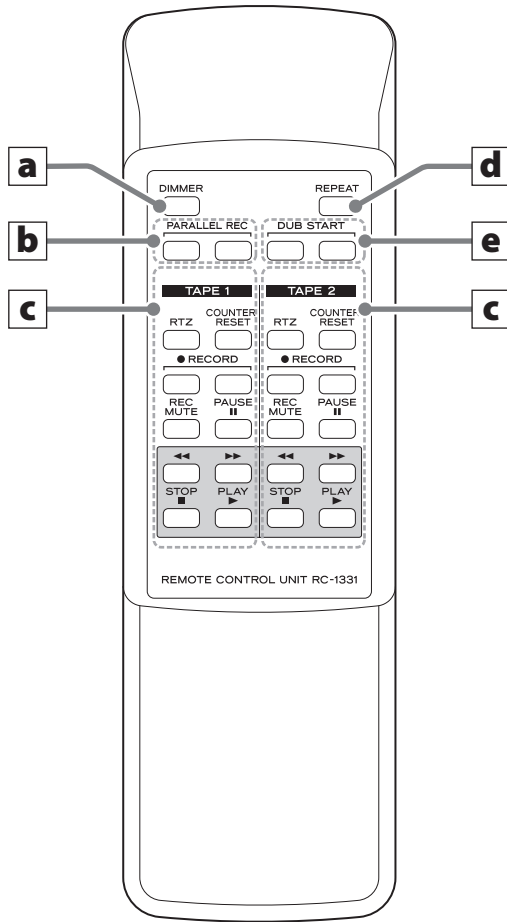
テープ再生時に発生する「サー」というヒスノイズを低減する機能です。

- 再生時のみ効果が得られます。
- ドルビー B ノイズリダクションを使用して録音されたテープを再生する際に使用するとヒスノイズを低減します。録音時は、ドルビー B ノイズリダクションのような効果を効かせることはできません。

R 再生モードスイッチ (PLAY MODE)

このスイッチで、ダブルカセットを利用した特殊な再生モードを切り換えます。(19 ページ)

各部の名前とはたらき (リモコン)



- 本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a ディマーボタン (DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。

b パラレル録音ボタン (PARALLEL REC)

TAPE1 と TAPE2 への録音を同時に開始します。2つのボタンを同時に押してください。(28 ページ)

c TAPE1/TAPE2 操作ボタン

RTZ ボタン

テープカウンターが「0000」の位置に移動して停止します。(18 ページ)

カウンターリセットボタン (COUNTER RESET)

テープカウンターを「0000」にリセットします。

録音ボタン (●RECORD)

録音をするときに使います。

2つのボタンを同時に押すと、録音待機状態になります。(20 ページ)

録音ミュートボタン (REC MUTE)

録音中に押すと、約 4 秒間の無信号録音が行われます。(22 ページ)

一時停止ボタン (PAUSE II)

再生 / 録音を一時停止します。

もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

巻戻し / 早送りボタン (◀◀/▶▶)

巻戻し / 早送りに使います。

停止ボタン (■)

再生 / 録音 / 巻戻し / 早送りを停止します。

再生ボタン (PLAY▶)

再生します。

再生 / 録音の一時停止状態のときに押すと、再生 / 録音を再開します。

d リピートボタン (REPEAT)

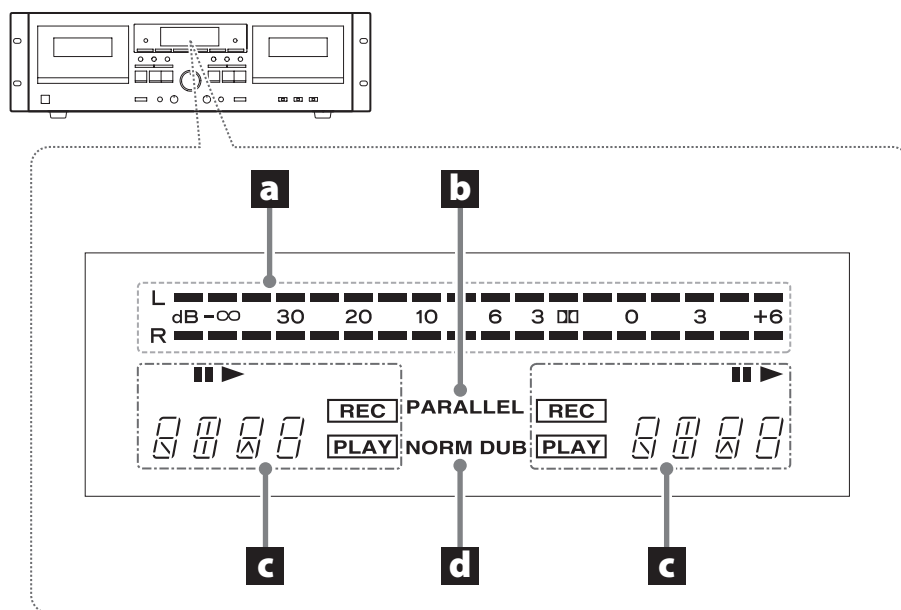
繰返して聴きたい部分を指定します。(19 ページ)

e ダビングスタートボタン (DUB START)

通常で速度でダビングします。2つのボタンを同時に押してください。

- TAPE2 から TAPE1 へのダビングはできません。
- 倍速でのダビングはできません。

各部の名前とはたらき (ディスプレイ)



a ピークレベルメーター

再生 / 録音中にピークレベルを表示します。

b パラレル録音表示 (PARALLEL)

TAPE1 と TAPE2 へのパラレル録音中に点灯します。(28 ページ)

c TAPE1/TAPE2 状態表示

再生 / 録音表示 (▶)

再生 / 録音しているときは ▶ が表示されます。

一時停止表示 (II)

再生 / 録音の一時停止中に点灯します。
再生モードが「SPECIAL」のときは、モニター再生の一時停止中に点滅します。

テープカウンター (0000)

テープカウンターを表示します。
カウンターリセットボタン (COUNTER RESET 1/2) を押すと「0000」にリセットされます。
リピート再生のときは、「REQ 1」、「REQ 2」と表示されます。

録音表示 (REC)

録音中、または録音待機中に点灯します。
録音ミュート中に点滅します。(22 ページ)

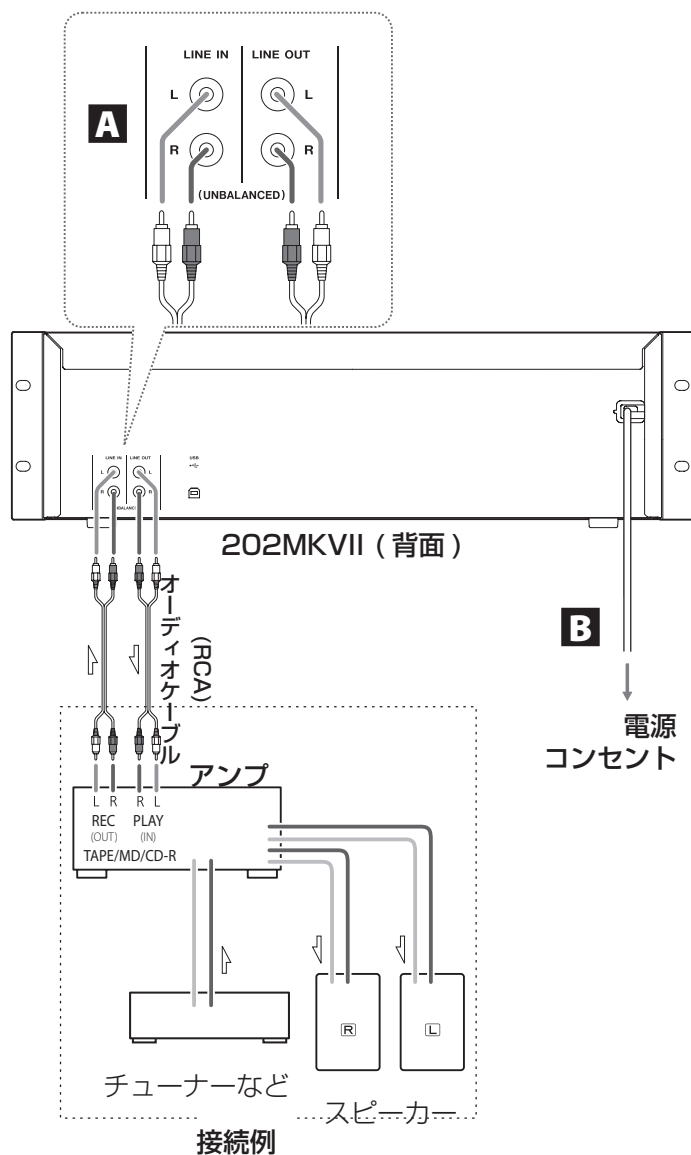
再生表示 (PLAY)

再生中、または録音中に点灯します。
再生モードが「SPECIAL」のときは、モニター再生中に点滅します。

d ダビング表示 (NORM DUB)

ダビング中に点灯します。(29 ページ)

接 続



! 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

A アナログ音声入出力端子 (LINE IN/LINE OUT)

LINE IN (ライン入力)

アンプのライン出力端子やCDプレーヤーなどの出力端子と接続してください。

LINE OUT (ライン出力)

アンプのTAPE/MD/CD-R端子やAUXなどの入力端子と接続してください。

詳しくは左接続図をご覧ください。

B 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

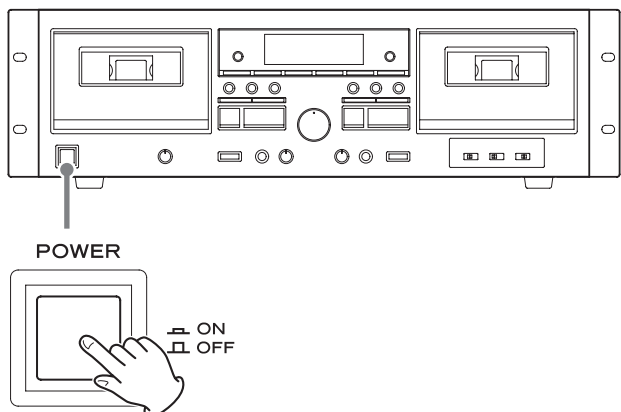
! 注意

交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

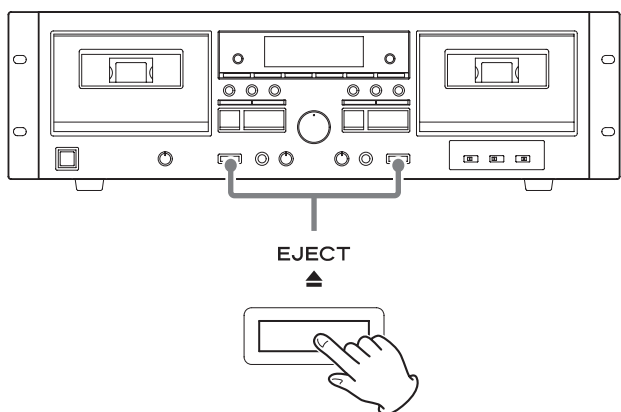
カセットテープを聴く

本機では、ノーマル(タイプⅠ)、クローム(タイプⅡ)、またはメタル(タイプⅣ)のテープを再生することができます。

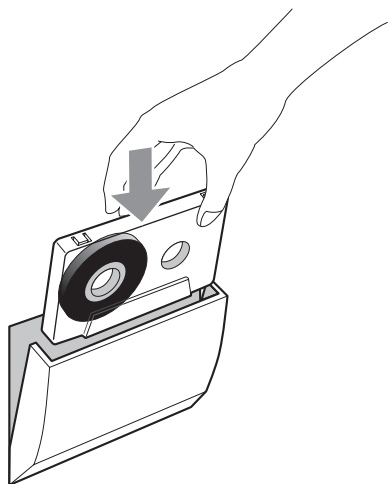
1 電源ボタン (POWER) を押して、電源をオンにする。



2 開ボタン (▲EJECT) を押して、カセットホルダーを開ける。



3 カセットを入れる。



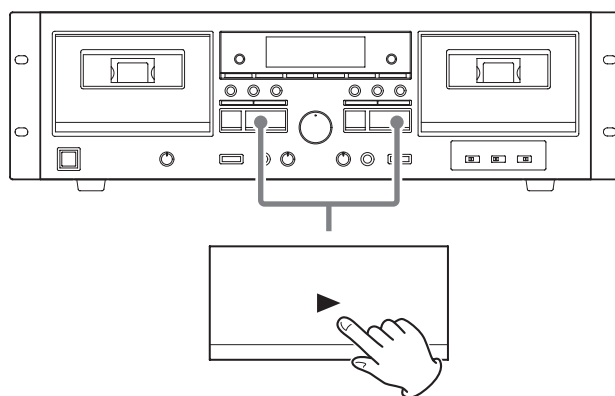
再生する面を手前にし、テープが露出している部

分を下にして入れ、カセットホルダーを手でゆっくり押し閉めてください。無理に押し込むと故障の原因になりますのでご注意ください。

注意

- テープにたるみがないか確認してください。(9 ページ)
- 故障の原因になりますので、変形したテープや、たるんだテープを使わないでください。また、カセットホルダーを開けるときは、手で無理やり開けないでください。

4 再生ボタン (▶) を押して再生を始める。



注意

再生中は、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。テープ巻込みなどの原因となります。

両側のカセットホルダーにテープが装着されている状態で、どちらかのデッキでテープを再生(録音)しているときの動作について

再生(録音)していない方の再生ボタン(▶)を押した場合

- ➔再生モードスイッチ (PLAY MODE) が NORMAL (19 ページ) のときは、再生(録音)中のテープが停止し、再生ボタン(▶)を押した側のテープが再生されます。(再生ボタンを押したほうが優先となります。)
- ➔再生モードスイッチ (PLAY MODE) が SPECIAL (19 ページ) のときは、再生(録音)は継続し、再生ボタン(▶)押した側のテープがモニター再生されます。

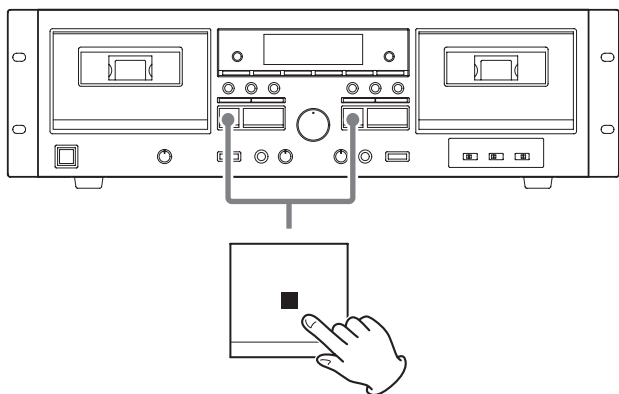
再生（録音）していない方の録音ボタン（●）を押した場合

→再生（録音）中のテープが停止し、録音ボタン（●）を押した側のテープが録音待機状態になります。

再生（録音）していない方の巻き戻し / 早送りボタン（◀▶）を押した場合

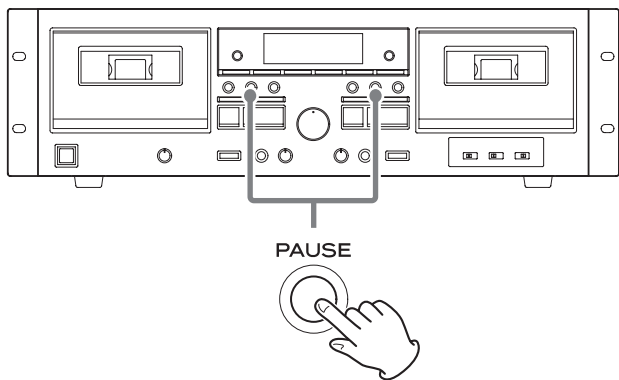
→再生（録音）中のテープはそのまま動作を続けた状態で、巻き戻し / 早送りボタン（◀▶）を押した側のテープを巻き戻し / 早送りします。

再生を停止する



停止ボタン（■）を押すと再生が停止します。

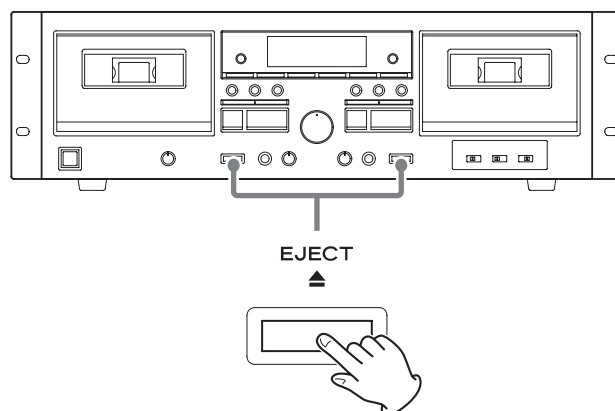
再生を一時停止する



一時停止ボタン (PAUSE) を押すと再生が一時停止します。

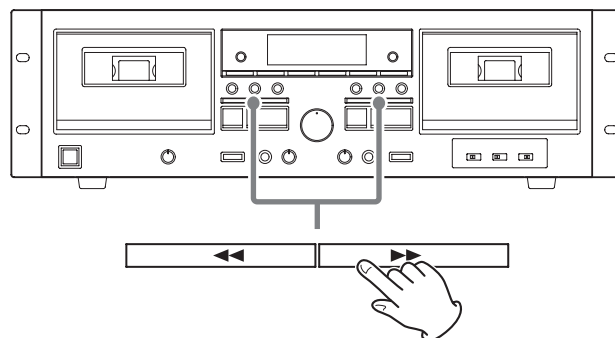
再び一時停止ボタン (PAUSE) を押すか、または再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

カセットテープの取出し



カセットテープが停止中に、開ボタン（▲ EJECT）を押してカセットホルダーを開き、取り出します。

巻き戻し / 早送りする



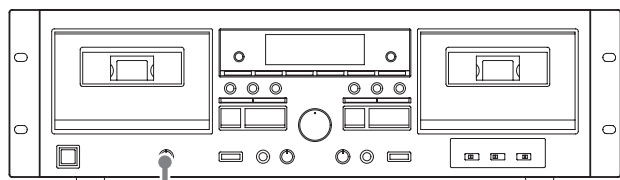
巻き戻しボタン（◀▶）、早送りボタン（▶▶）を押します。

テープの最後まで巻き戻し / 早送りすると、停止します。途中で止めたいときは、停止ボタン（■）を押します。

カセットテープを聴く (続き)

ピッチコントロール (TAPE1 のみ)

TAPE1 の再生時にピッチ (音程) を変えることができます。



PITCH CONTROL



ピッチコントロールつまみ (PITCH CONTROL) を右 (+方向) に回すと、テープ走行速度が速くなり音程が上がります。

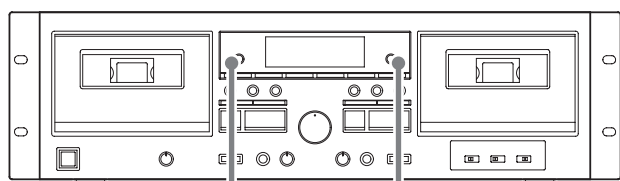
(最大 12%、音程で約 1 音上がります)

左 (-方向) に回すと、テープ走行速度が遅くなり音程が下がります。

(最大 12%、音程で約 1 音下がります)

- 録音時、またはダビング時にはこの機能は働きません。再生時にのみ調節することができます。

テープカウンター



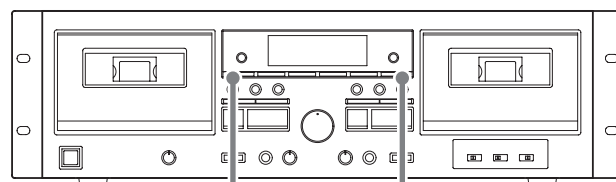
COUNTER RESET



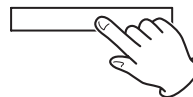
カウンターリセットボタン (COUNTER RESET) を押すとそれぞれのテープカウンターが「0000」にリセットされます。

テープの特定の位置を記憶する場合にお使いください。また、次のページの「0000 に移動」機能と合わせて使うと便利です。

0000 に移動



RETURN TO ZERO



RETURN TO ZERO ボタンを押すと、TAPE1 または TAPE2 のテープがカウンター「0000」の位置まで早送り / 巻戻しされて停止します。

- カウンターが「9995」～「0004」では機能しません。

再生モードについて

再生モードスイッチ (PLAY MODE) で、ダブルカセットを利用した特殊な再生モードを切り換えます。

NORMAL

通常の再生モードです。

TAPE1/TAPE2 いずれか再生操作を行った方に動作が切り換わり、LINE OUT (ライン出力) およびヘッドホンから再生音声が出力されます。

LINE OUT (ライン出力) およびヘッドホンから出力される音声は同じです。

SPECIAL

ダブルカセットを利用した特殊な再生モードです。

一方の TAPE を再生 / 録音 / 一時停止中に、もう一方の TAPE を再生すると、すでに動作している TAPE の再生 / 録音 / 一時停止状態はそのまま LINE OUT (ライン出力) の音声出力が継続されます。

新たに再生操作を行った TAPE の再生音声は、ヘッドホンからのみ出力されます (モニター再生)。

このモードを使用することにより再生、録音しながら別のテープの頭出し作業を行うことができます。

頭出しした音声を LINE OUT (ライン出力) から出力するには、テープの頭出し作業を停止ボタン (■) を押して完了します。

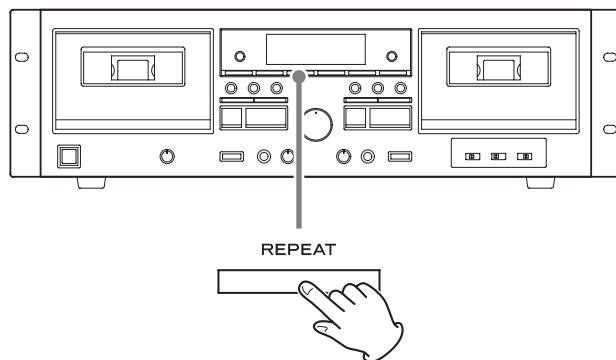
その後、LINE OUT (ライン出力) の音声出力を継続していた TAPE 側の停止ボタン (■) を押して停止し、頭出しした TAPE 側の再生 / 録音操作をすると LINE OUT から音声が出力されます。

- モニター再生中は、再生表示 (**PLAY**) が点滅します。
- モニター再生の一時停止中は、一時停止表示 (**II**) が点滅します。
- LINE OUT (ライン出力) は、TAPE1/TAPE2 ともに停止した状態から再生、録音した際に出力されます。
- モニター再生時にヘッドホンから出力される音声に対しては、ノイズリダクションは無効です。

リピート再生

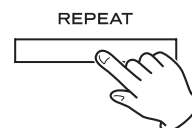
指定した部分を繰り返し聴くことができます。

1 再生中に、開始したいポイントでリピートボタン (REPEAT) を押す。



ディスプレイに、「RE01」と表示されます。

2 終了したいポイントになったら、もう一度リピートボタン (REPEAT) を押す。



ディスプレイに、「RE02」と表示されます。

自動的に開始ポイントに巻き戻り、終了ポイントまで再生します。終了ポイントまで再生すると、再び開始ポイントまで巻き戻り、終了ポイントまで再生を繰り返します。

これを 20 回まで繰り返し、停止します。

リピート再生を途中で停止するには、停止ボタン (■) を押します。

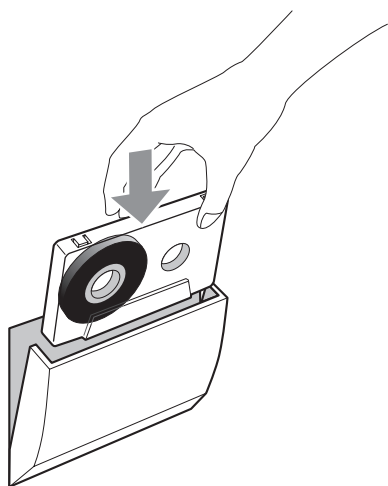
- リピート中は、リピートボタン (REPEAT) と停止ボタン (■) 以外のボタンは機能しません。
- 開始ポイントから終了ポイントまでは、テープカウンターで最低 10 カウント以上必要です。

カセットテープに録音する

本機では、接続した外部入力機器（ライン入力）の音声をカセットテープに録音することができます。ノーマル（タイプⅠ）、またはクローム（タイプⅡ）のテープに録音することができます。

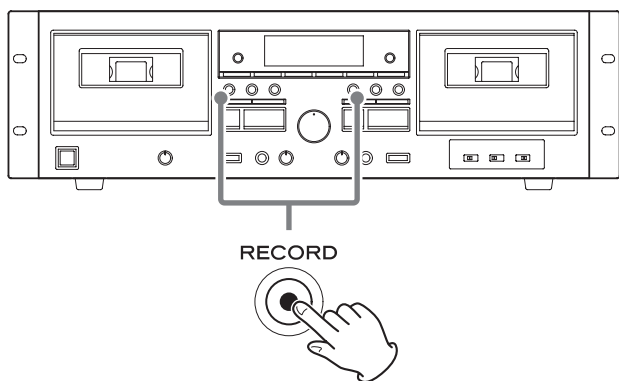
- 本機はメタルテープ（タイプⅣ）への録音には対応していません。
- ここでは外部機器から TAPE1 または TAPE2 への録音を説明しますが、本機には、マイク音声のミキシング録音（25 ページ）、TAPE1 または TAPE2 のパラレル（同時）録音（28 ページ）の機能もあります。

1 カセットホルダーに録音用のカセットテープを入れる。



- 録音する面を手前にしてください。
- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

2 録音ボタン (RECORD ●) を押して、録音待機状態にする。



ディスプレイに **||** と **REC** が点灯します。

- リモコンを使うときは、2つの録音ボタン（●RECORD）を同時に押してください。

- 録音待機状態を解除する場合は、停止ボタン（■）を押します。

3 録音レベルを調節する。

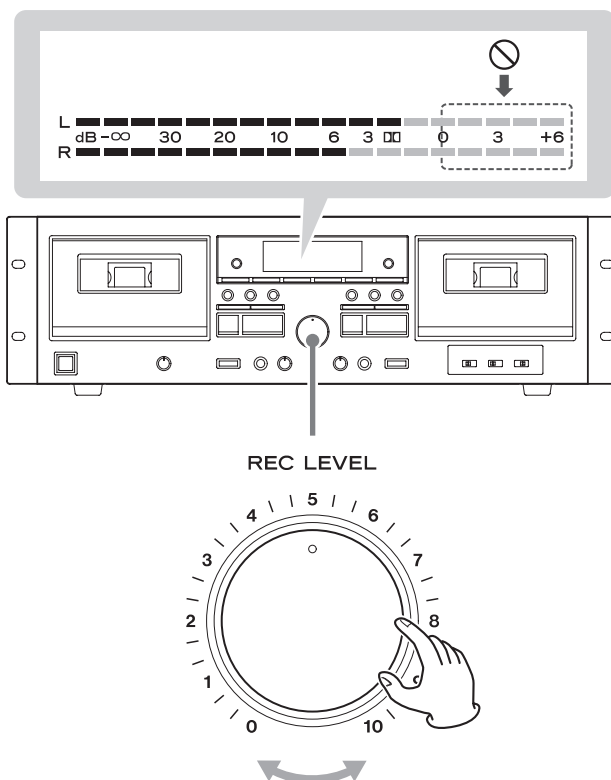
録音を行う前には録音レベルを調節してください。適切な録音レベルではない場合、音が歪んだり（レベルが大きすぎ）、ノイズが多い（レベルが小さすぎ）録音になります。

1. 録音ソースを再生する。

例

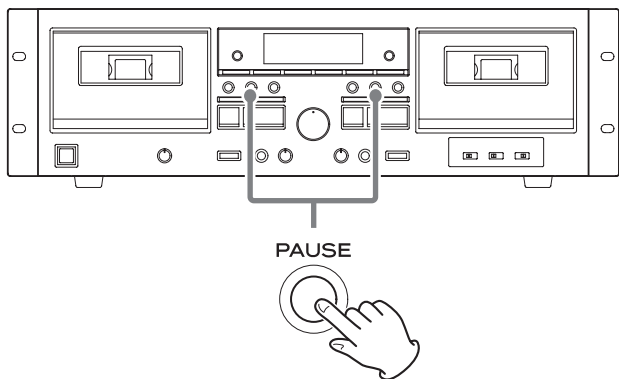
- 接続したアンプの入力ソースを再生する
- 接続したプレーヤーを再生する
- 接続したチューナーの選局をする

2. 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節する。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

4 一時停止ボタン (PAUSE) を押して、録音を始める。



ディスプレイの **||** が消え、**REC** と **PLAY** が点灯します。

⚠ 注意

録音中は、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。

テープ巻込みなどの原因となります。

録音を一時停止する

一時停止ボタン (PAUSE) を押します。

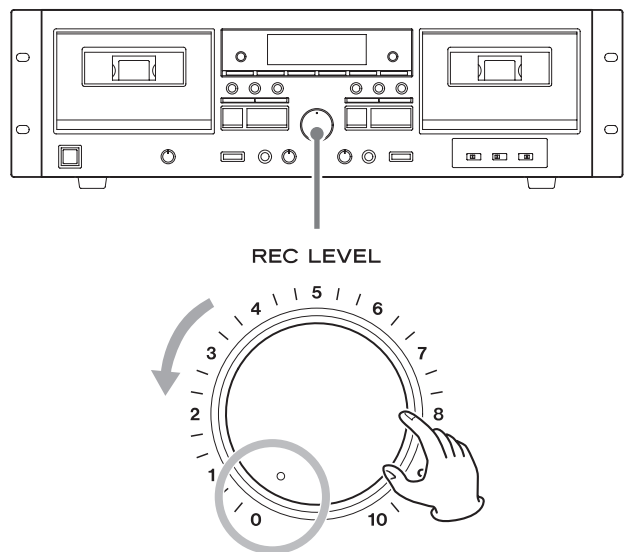
もう一度押すと録音を再開します。

録音を停止する

停止ボタン (■) を押します。

- ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。

録音済みのテープを消去する



録音レベルを最小 (0) にして上書き録音をすることによって、録音内容を消去することができます。

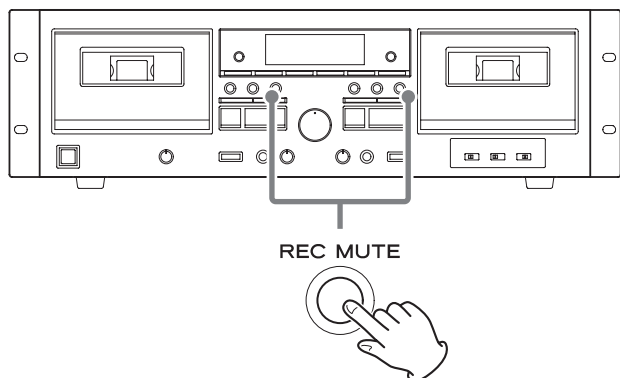
録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を 0 に合わせてから、録音の手順 (20 ページ) に従って録音してください。

(3 の録音レベルの調節はスキップしてください。また録音ソースは必要ありません)

カセットテープに録音する（続き）

無録音部分をつくる (REC MUTE)

不要な部分を消去したり、曲間にスペースを入れながら録音することができます。



録音中または録音待機中に録音ミュートボタン (REC MUTE) を押すと、約 4 秒間の無録音部分を作り、録音待機状態になります。

4 秒より長い時間を無音にしたいとき

録音ミュートボタン (REC MUTE) を押し続けます。押し続けている間は無録音部分が作られ、指を離すと録音待機状態になります。

4 秒より短い時間を無音にしたいとき

録音ミュートボタン (REC MUTE) を押してから、3 秒以内に一時停止ボタン (PAUSE) を押します。そこで無信号録音が終了し、録音待機状態になります。

一時停止ボタン (PAUSE) を押すと、録音を再開します。

- 録音ミュート中は、ディスプレイの **REC** が点滅します。

パソコンで録音するには

別売りの USB ケーブルでパソコンに接続すると、本装置の音声信号がデジタルデータに変換されてパソコンに送信されます。

サポート OS

USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかとなります。下記以外の OS での動作保証はいたしません。(2017年11月現在)

Windows の場合

- Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
- Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
- Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)
- Windows 10 (32bit 版、64bit 版)

Mac の場合

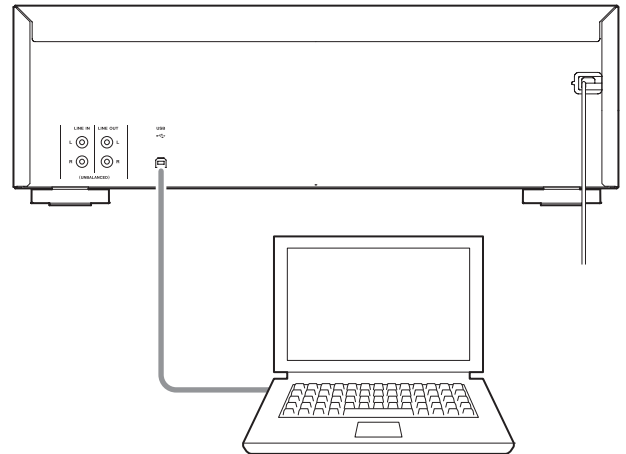
- OS X Lion (10.7)
 - OS X Mountain Lion (10.8)
 - OS X Mavericks (10.9)
 - OS X Yosemite (10.10)
 - OS X El Capitan(10.11)
 - macOS Sierra (10.12)
 - macOS High Sierra (10.13)
- Windows 及び Mac の標準ドライバーで動作します。専用ドライバーをインストールする必要はありません。

パソコンと接続する

1 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動したことを確認してください。

2 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。



- パソコンに接続する USB ケーブルは、ノイズに強いフェライトコア付のものをお勧めします。

3 本機の電源ボタン (POWER) を押して電源をオンにする。

パソコンと本機を接続した場合は、パソコン側で本機の USB ポートを自動検出し、「USB Audio CODEC」として認識されます。

- 本機の音声をパソコンで録音するには、音声録音ソフトをパソコンにインストールする必要があります。別途、お好みの音楽録音ソフトウェアをお買い求めになるか、Web 上のフリーソフト (Audacity、<http://www.audacityteam.org/> 等) をダウンロードしてご使用下さい。Audacity 等のフリーソフトウェアは、弊社サポート対象外となりますので予めご了承ください。
- パソコンと USB 接続を行って録音を行っている場合は下記の操作を行わないでください。パソコンが誤動作する原因となります。これらの操作は必ずパソコンの録音ソフトを終了してから行ってください。
 - ・ USB ケーブルを抜く
 - ・ 本機の電源をオフにする

パソコンの設定

OS が Windows7 の場合を例に説明します。

- 1** スタートメニューから「コントロールパネル」を選択する。
- 2** 「サウンド」をクリックする。
- 3** 「録音」タブをクリックして、「USB Audio CODEC」が「既定のデバイス」になっているか確認する。
- 4** 「マイク USB Audio CODEC」を選択して「プロパティ」をクリックする。
- 5** 「詳細」タブをクリックする。
- 6** 「既定の形式」プルダウンメニューのリストから録音したい音質（フォーマット）を選択する。

ヒント

最高音質は「2チャンネル、16ビット、48kHz」ですがファイル容量は大きくなります。サンプリング周波数を下げて録音すると音質は低下しますが、ファイル容量も少なくなります。

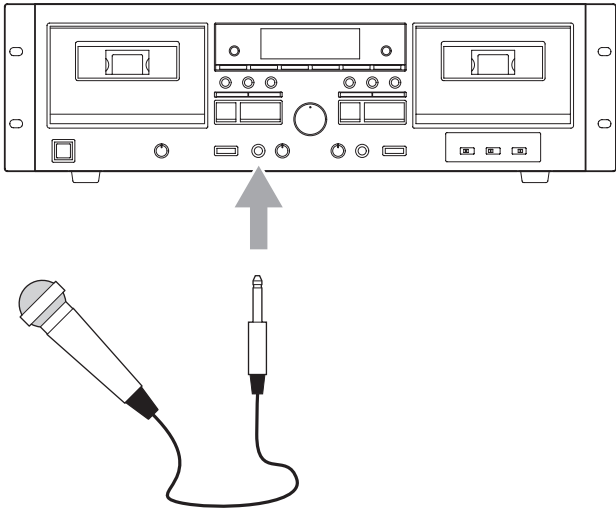
- 7** 「OK」をクリックする。

マイクミキシング録音

ライン入力の音とミキシング録音

外部接続した機器からのソースに、本機に接続したマイクの音をミキシングして録音することができます。マイクの音のみ録音することもできます。

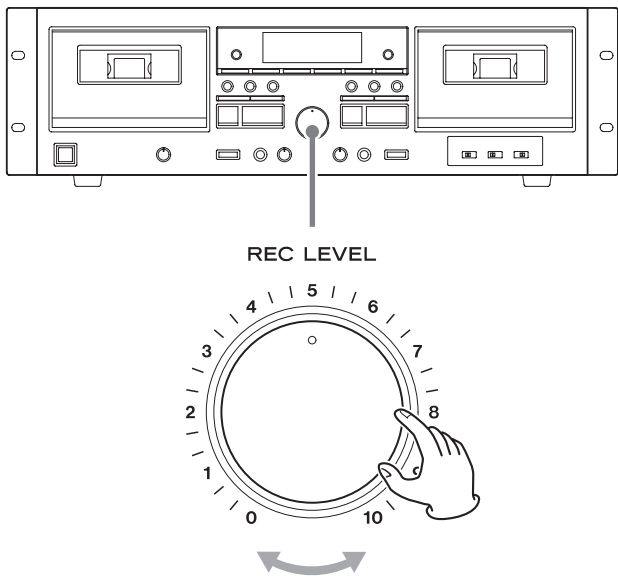
本機はステレオマイクには対応しておりません。モノラルマイクをお使いください。



フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクのプラグを接続し、録音の手順 (20 ページ) に従って録音してください。

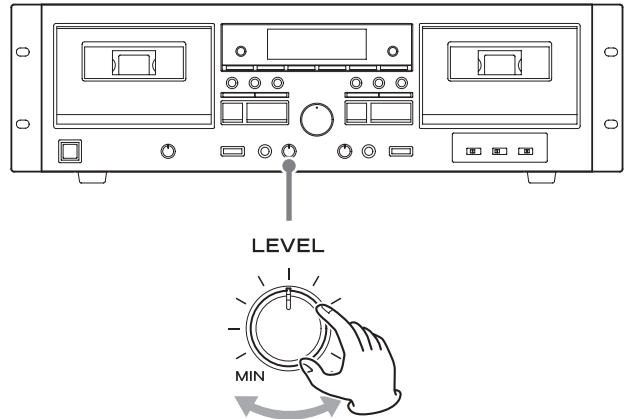
録音の手順 **3** の録音レベルの調節では、以下のようにソースとマイクの両方のレベルを調節してください。

1. ソースのレベルを調節する。



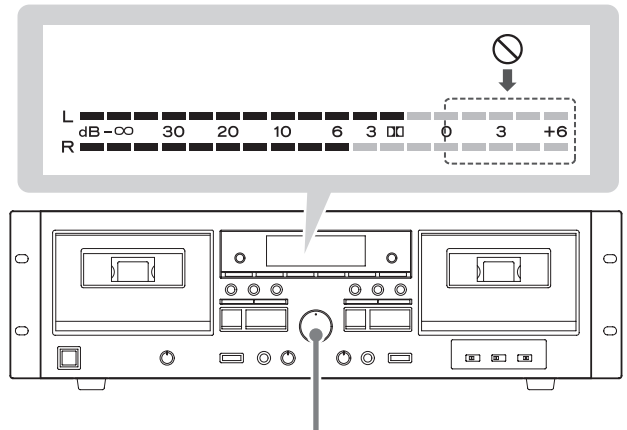
ソースを再生し、録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) で録音レベルを少し低めに調節します。

2. マイクのレベルを調節する。



マイクの音を出しながら、マイクレベルつまみ (LEVEL) で、ソースとマイクの音のバランスを調節します。

3. 全体のレベルを調節する



ソースを再生し、マイクの音を出しながら、録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) で最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。

調整が終わったら、21 ページの録音の手順 **4** に進んでください。

- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

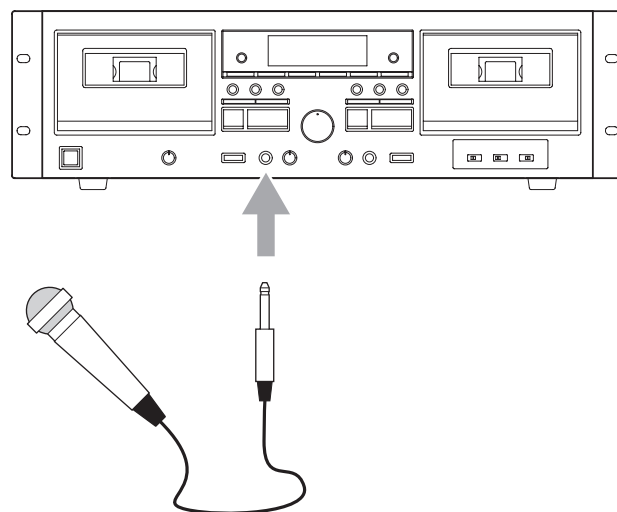
マイクミキシング録音（続き）

- マイクの音は左右同じレベルで分配され、中央に定位します。
- ソースは、アナログ音声入力端子 (LINE IN) に接続したアンプで選択するか、アナログ音声入力端子 (LINE IN) に直接接続してください。(15 ページ)
- マイクの録音時は、ハウリング*を防止するためにヘッドホンでモニターされることをお勧めします。もしもスピーカーを使ってモニターする場合は、スピーカーの音量を下げたり、マイクをスピーカーに近づけないよう十分配慮してください。
 - * ハウリングとは
スピーカーから出た音がマイクに帰還して発振する現象。「ピー」という大きな音が出るため、場合によりスピーカーを破損することがある。
- マイクミキシング録音中でも無録音部分をつくる(22 ページ) ことができます。
- ライン入力の音とミキシング録音する場合、録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) でミキシング後の音量を調節します。

テープ再生の音とミキシング録音

TAPE1 の音と本機に接続したマイクの音をミキシングして TAPE2 に録音することができます。

本機はステレオマイクには対応しておりません。
モノラルマイクをお使いください。



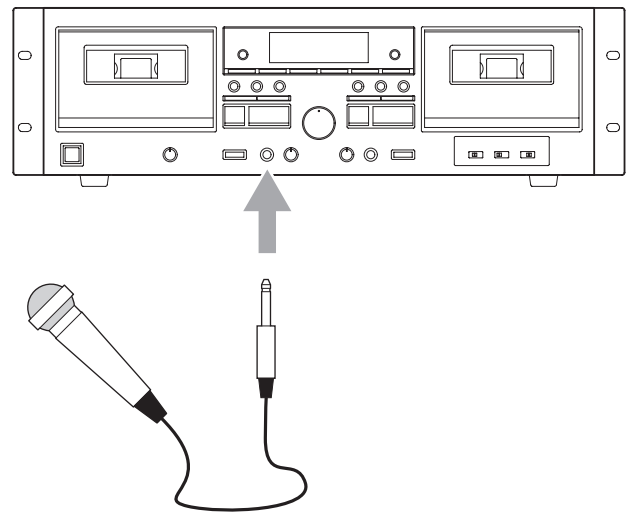
フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクのプラグを接続してください。

- 1** TAPE1 カセットホルダーに再生用、TAPE2 カセットホルダーに録音用のカセットを入れる。
- 2** TAPE1 の再生ボタン (▶) を押してテープを再生し、マイクレベルつまみ (LEVEL) で再生音とマイクの音のバランスを調節する。
- 3** TAPE1 の巻戻しボタン (◀◀) を押して再生する曲の頭出しをする。
- 4** TAPE1 の停止ボタン (■) を押してテープを止める。
- 5** 29 ページのダビングの手順 **2** に従って、マイクミキシングダビングを開始する。
 - フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクを接続するとテープの再生レベルが少し低めになります。これはダビング時のテープ再生音にマイク音声を重ねる余裕を確保するためです。
 - ダビングしたテープを再生する際にフロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクが接続されて

いると再生レベルが少し低めになります。マイクを取り外すと通常の再生レベルになります。

- テープ再生の音とミキシング録音する場合、録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) でミキシング後の音量を調節できません。

テープ再生の音でカラオケを楽しむ



フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクのプラグを接続してください。

1 TAPE1 カセットホルダーに再生用カセットを入れる。

2 TAPE1 の再生ボタン (▶) を押してテープを再生し、マイクレベルつまみ (LEVEL) で再生音とマイクの音のバランスを調節する。

曲に合わせて歌います。

- ピッチコントロールつまみ (PITCH CONTROL) を調節すると、カラオケ伴奏の音程を変えることができます。
- TAPE2 の再生でもカラオケをたのしむことができますが、TAPE2 はカラオケ伴奏のピッチ (音程) を変えることができません。
- フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクを接続するとテープの再生レベルが少し低めになります。これはマイクミキシングダビング時のテープ再生音にマイク音声を重ねる余裕を確保するためです。
- 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) でミキシング後の音量を調節できません。

パラレル（同時）録音

外部接続した機器からのソースを、2本のカセットに同時（パラレル）に録音することができます。

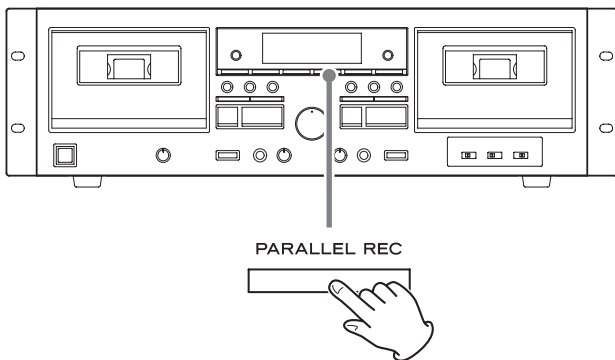
1 TAPE1 カセットホルダーと TAPE2 カセットホルダーの両方に録音用のカセットを入れる。

- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

2 20～21 ページの録音の手順 2～3 に従って録音レベルの調節を行う。

3 TAPE1 の停止ボタン (■) を押して、一旦録音待機状態を解除する。

4 パラレル録音ボタン (PARALLEL REC) を押して、録音を始める。



ディスプレイに PARALLEL が点灯します。

- リモコンを使うときは、2つのパラレル録音ボタン (PARALLEL REC) を同時に押してください。
- 一時停止状態になっているとパラレル録音が始まりません。停止状態にしてから開始してください。
- パラレル録音中でも、TAPE2 の録音ミュートボタン (REC MUTE) を使って無音録音 (22 ページ) ができます。(TAPE1 の録音ミュートボタン (REC MUTE) は使えません。)

パラレル録音を一時停止する

TAPE2 の一時停止ボタン (PAUSE) を押します。
もう一度押すとパラレル録音を再開します。

パラレル録音を停止する

TAPE1 か TAPE2 の停止ボタン (■) を押します。

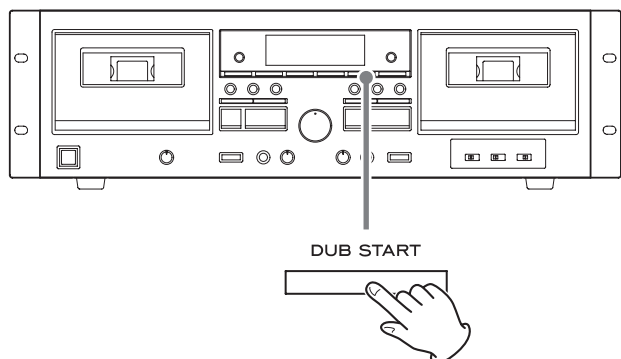
- ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。

ダビング

TAPE1 から TAPE2 へのダビングができます。

1 TAPE1 カセットホルダーに再生用、TAPE2 カセットホルダーに録音用のカセットを入れる。

2 ダビングスタートボタン (DUB START) を押して、ダビングを開始する。



通常ので速度でダビングします。

ダビング中はディスプレイに NORM DUB が点灯します。

- リモコンを使うときは、2つのダビングスタートボタン (DUB START) を同時に押してください。
- 早送りまたは巻戻しでテープの最後まで巻かれた直後は、ダビングスタートボタン (DUB START) を押しても開始しません。5秒以上経ってから操作してください。

TAPE1 の再生が終わると、ダビングは自動的に停止します。

ダビングを一時停止する

ダビング中に TAPE2 の一時停止ボタン (PAUSE) を押します。一時停止中は、TAPE1 は再生を続けますが、TAPE2 は録音しません。

もう一度押すとダビングを再開します。

ダビングを途中停止する

TAPE1 か TAPE2 の停止ボタン (■) を押します。

- ダビング中に、TAPE2 の録音ミュートボタン (REC MUTE) を使って無音録音 (22 ページ) ができます。(TAPE1 の録音ミュートボタン (REC MUTE) は使えません)
不要な部分を消去したり、曲間にスペースを入れながらダビングすることができます。

- ダビング中はピッチコントロール機能が働きません。
- ダビングでは録音レベルの調節はできません。
- 必要に応じてテープの反対面も同様の操作でダビングしてください。
- マイクミキシングを行わない場合は、フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクのプラグを接続しないでください。マイクを接続したままダビングを行うと少し低めの録音レベルでダビングされます。

タイマー再生 / 録音

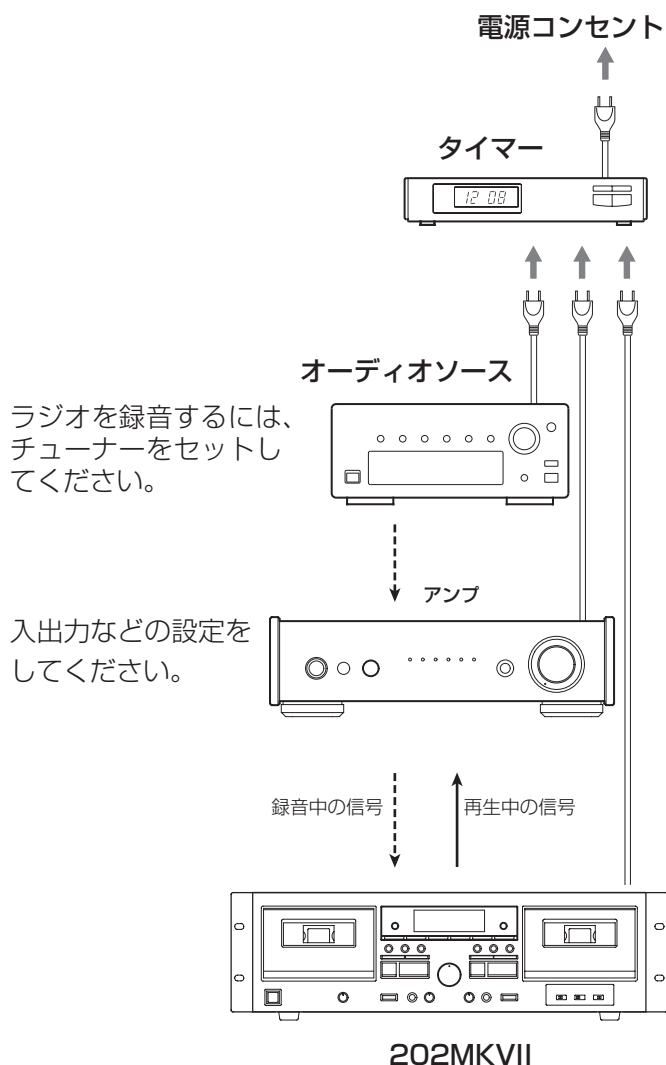
市販のオーディオタイマーを接続して、設定した時間に再生や録音を開始することができます。

- タイマー再生では、本機にセットしたカセットテープのみ再生することができます。外部接続機器をタイマー再生することはできません。
- タイマー録音のソースは、タイマー動作可能な外部接続機器のみです。(ラジオ放送のタイマー録音など)

タイマーで TAPE1 から TAPE2 へのダビングはできません。

接続

下図を参考に、機器を接続してください。



! 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

タイマー再生

- タイマー再生では、本機にセットしたカセットテープのみ再生することができます。外部接続機器をタイマー再生することはできません。

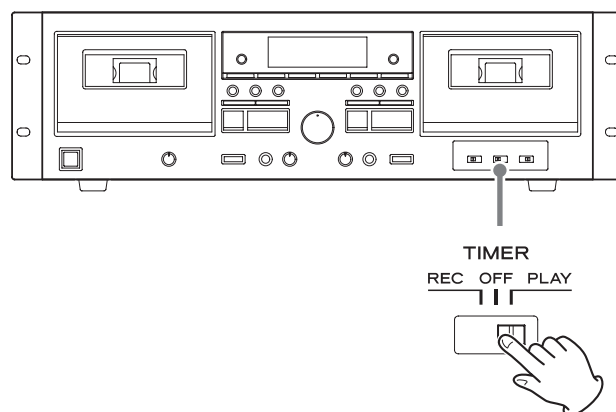
1 左の接続図を参考にして、202MKVII とその他の機器を市販のタイマーに接続する。

2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマー再生したいカセットを入れる。

- 再生する面を手前にしてカセットを入れてください。
- TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットが入っているときは、TAPE1 再生をして停止します。TAPE2 のカセットのみが入っているときは、TAPE2 の再生をします。

4 タイマー設定スイッチ (TIMER) を「PLAY」にセットする。



5 タイマーのオン / オフの時間を設定する。

設定を終了したら、タイマーからの電源供給を全てオフにしてください。

このとき、202MKVII の電源ボタン (POWER) を押さないでください。

ボタンは押されたままの状態 (オンの位置) にしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー再生は動作しません。

タイマーオンの時間になると、接続した機器にタイマーから電源が供給され、再生が始まります。

- タイマーを使わないときは、タイマー設定スイッチ (TIMER) を OFF にセットしてください。

タイマー録音

- タイマー録音のソースは、タイマー動作可能な外部接続機器のみです。(ラジオ放送のタイマー録音など) タイマーで TAPE1 から TAPE2 へのダビングはできません。

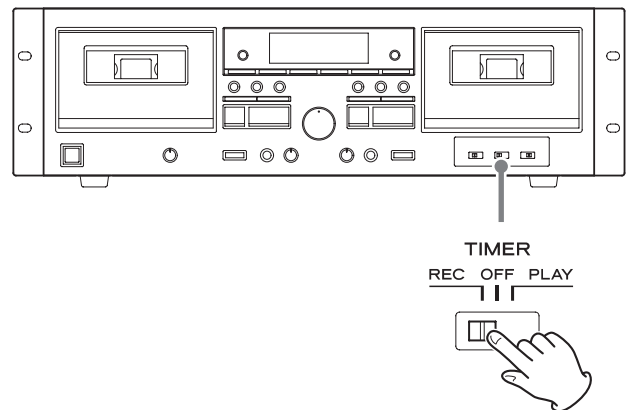
1 前のページの接続図を参考にして、202MKVII と機器を市販のタイマーに接続する。

2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマーで録音したいカセットテープを入れる。

- 消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
- ノーマル (タイプ I)、またはクローム (タイプ II) のテープに録音することができます。

4 タイマー設定スイッチ (TIMER) を「REC」にセットする。



5 (ラジオ放送の録音の場合)

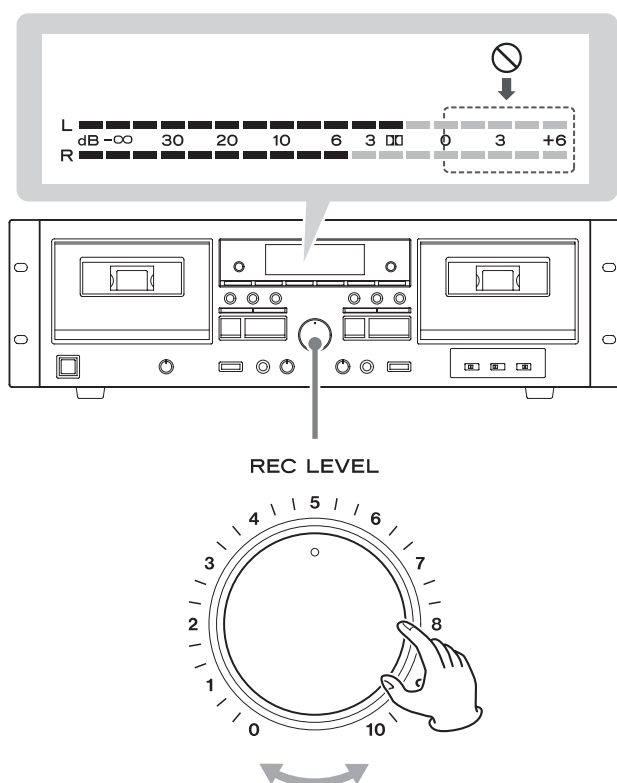
録音したい放送局を選局する。

タイマー再生 / 録音 (続き)

6 録音レベルを調節する。

録音を行う前には録音レベルを調節してください。適切な録音レベルではない場合、音が歪んだり (レベル大きすぎ)、ノイズが多い (レベル小さすぎ) 録音になります。

1. 録音ソースを再生する。
2. 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節する。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

7 タイマーのオン / オフの時間を設定する。

設定を終了したら、タイマーからの電源供給を全てオフにしてください。

このとき、202MKVII の電源ボタン (POWER) を押さないでください。

ボタンは押されたままの状態 (オンの位置) にしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー録音は動作しません。

タイマーオンの時間になると、接続した機器にタイマーから電源が供給され、録音が始まります。

- タイマーを使わないときは、大切なカセットテープに誤って上書き録音しないように、必ずタイマー設定スイッチ (TIMER) を OFF の位置にしておいてください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

電源が入らない。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

電源を入れると、再生 / 録音が始まってしまう。

- タイマー設定スイッチ (TIMER) を「OFF」にしてください。

リモコンで操作できない。

- 電源ボタン (POWER) を押して、本体の電源をオンにしてください。
- 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
- リモコンは本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
- 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

リモコンを使うと近くのテレビなどが誤動作する。

- ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作することがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

ボタンを押しても反応しない。

- 動作中は、ボタンを押しても反応しないことがあります。しばらく待ってから再度ボタンを押してください。
- カセットが入っていない場合はカセットを入れてください。
- カセットを正しく挿入してください。

音が出ない。または小さな音しか出ない。

- アンプとの接続を確認してください。
- スピーカーや他の機器との接続を確認してください。
- 接続した機器の操作が正しいか確認してください。
- スピーカーケーブルの ⊕ / ⊖ がショートしていないか確認してください。

雑音がする。

- テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

カセットホルダーが閉まらない。

- カセットテープが正しくセットされていないと閉まりません。正しく入れ直してください。

音質が悪い。

- ヘッドをクリーニングしてください。(8 ページ)

再生スピードが速い / 遅い。

- ピッチコントロールの設定を確認してください。(18 ページ)

録音できない。

- 消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
- 録音レベルを確認してください。(20 ページ 3)
- アンプやソース機器との接続を確認してください。
- アンプのセレクターが適切な設定になっているか確認してください。

タイマー再生 / 録音が始まらない。

- タイマー再生の場合は、タイマー設定スイッチ (TIMER) を「PLAY」にしてください。
- タイマー録音の場合は、タイマー設定スイッチ (TIMER) を「REC」にしてください。
- 電源ボタン (POWER) を押して、本機の電源をオンの状態にしておいてください。
- タイマー再生 / 録音の設定が終わったら、タイマーからの電源供給がオフになるようにしてください。(タイマーからの電源供給がオンになると、202MKVII は動作します)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

カセットレコーダー部

トラック形式 . . . 4トラック 2チャンネル・ステレオ
 ヘッド構成 . 録音/再生ヘッド(TAPE1/TAPE2 各 1)
 消去ヘッド (TAPE1/TAPE2 各 1)

テープ速度 4.8cm/秒
 ピッチコントロール ± 12%
 早巻時間 C-60 テープで約 120 秒
 ワウ・フラッター 0.25% (W.RMS)

周波数特性

クロームテープ (タイプ II)
 30Hz ~ 15kHz (± 4dB)
 ノーマルテープ (タイプ I)
 30Hz ~ 13kHz (± 4dB)

総合 SN 比 59dB
 (最大録音レベル入力時、A-Weight)

アナログ音声入力端子 (RCA)

規定入力レベル - 9dBu (0.28Vrms)
 最大入力レベル +20dBu (7.75Vrms)
 入力インピーダンス 33k Ω

マイク入力端子 (モノラル標準ジャック)

最小入力レベル - 66dBu (0.388mVrms)
 入力インピーダンス 3k Ω以上

アナログ音声出力端子 (RCA)

規定出力レベル - 4.5dBu (0.46Vrms)
 出力インピーダンス 1k Ω

ヘッドホン端子 (ステレオ標準ジャック)

15mW+15mW (32 Ω負荷)

USB 端子 (タイプ B)

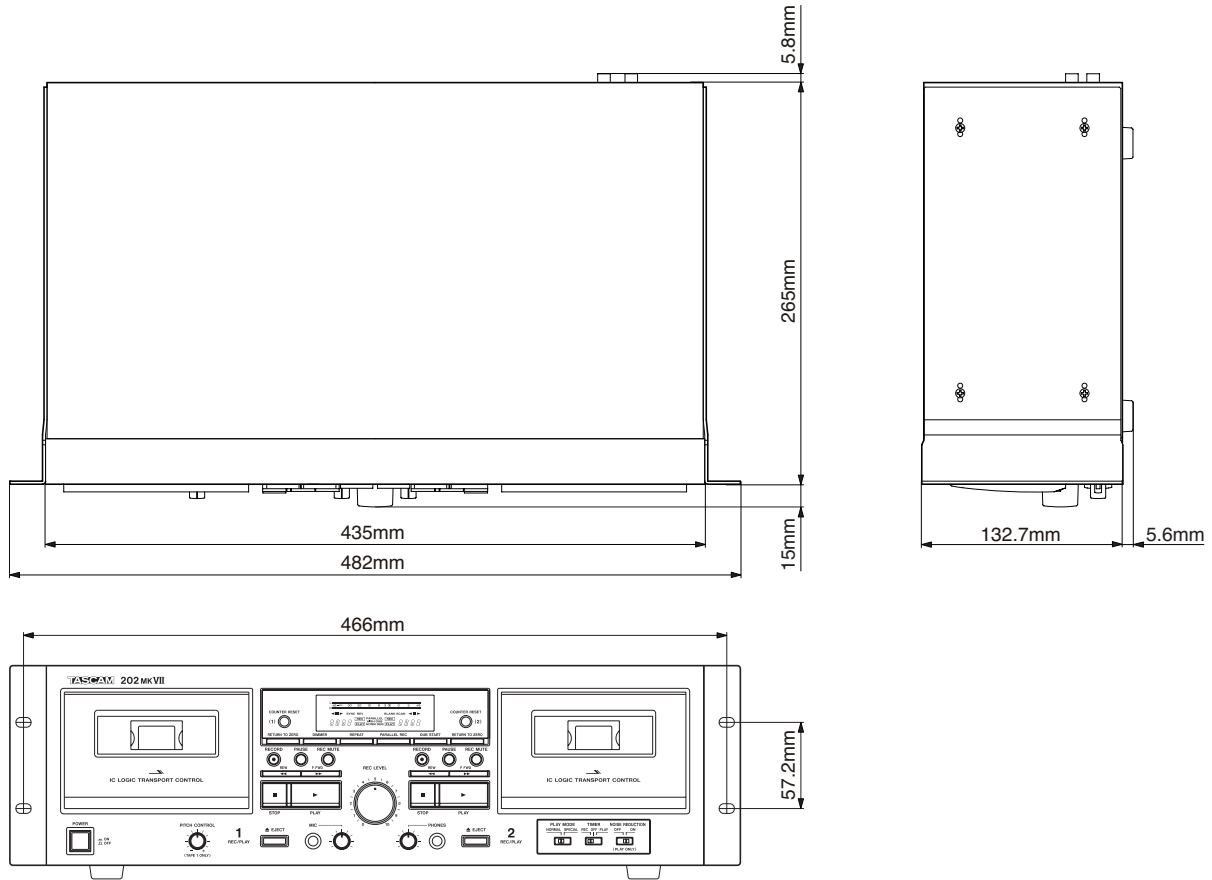
USB2.0 準拠 (Full Speed)
 サンプリング周波数
 8/11.025/16/22.05/32/44.1/48kHz
 量子化ビット数 8/16 ビット

- 1dBu = 0.775Vrms

一般

電源 AC100V、50-60Hz
 消費電力 14W
 外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含む)
 482 x 138.3 x 285.8mm
 質量 5.4kg

寸法図



- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

無料修理規定（持ち込み修理）

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。

保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。

ご購入、ご購入品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。

- (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
- (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
- (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

- (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- (6) メンテナンス
- (7) 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

* この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスクム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

0318.MA-2484C

保証書

品名 および 形名	202MKVII		
機番			
保証期間	本体		1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前	見本	
	ご住所		

販売店	見本		
電話	()		

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501 / 04-2901-1033

